

特色ある取り組み

◆NPO 法人 要会（かなめかい） カフェ・ラポール

カフェ・ラポールは本学福祉学科の障害者支援を学んだ卒業生が、実践の場として設立しました。「障害者に働く場を提供し、障害者が収入を得、仕事という役割をとおして社会参加をし、更に働く場で仲間や友人が増え、結果として個人の生活が生き生きと豊かになること」を目指しています。

カフェ・ラポールでは、知的障害のある人を中心に、精神障害者、身体障害者がサンドウィッチなどの製造・販売をしています。お昼時には、大学 6 号館でもサンドウィッチの販売が行われています。大学の関連施設でもある高齢者複合施設「ふれあいの里とばた」には喫茶室もあります。

スタッフ 6 人は全員本学福祉学科の卒業生で、社会福祉士、看護師、栄養士、ケアマネージャー、調理師、保育士の免許・資格を有しています。福祉学科の在学生にとっては、定期的なボランティア活動等をとおして障害者支援の学びの場となっています。また、大学教員は、スタッフで対応困難な利用者の援助についてのコンサルテーションを行っています。

◆ほほえみの会

ほほえみの会は、就園前の極低出生体重児(2 歳児)とその家族を対象とした親子遊びの会です。活動内容は、親子の関係性の緊密化を図る親子遊び(課題遊び、身体遊び)、友達との交流を促す自由遊び、親同士が交流し合う親ミーティングなどです。

本学福祉学科教員 3 人と新生児科医(6 人)、管理栄養士(1 人)とボランティアの学生(大学福祉学科、短期大学部保育科)により運営しています。

毎年 3 人から 7 人の極低出生体重児とその家族が年間をとおして参加されており、活動回数は年 12 回から 14 回です。また、年に 1 回土曜日に参加者の同窓会(夏祭り)を開いており、異年齢の子どもとその家族が集まる機会を設けています。週末に設定しているため、父親・親族の参加も可能です。

◆ハンドベルクワイヤー

西南女学院のハンドベルクワイヤーは、建学の精神である「感恩奉仕」の実践活動の一つとして、昭和 58(1983)年にナンシー・ノートン宣教師によって結成されました。

演奏会活動は、入学式、卒業式等式典での演奏のほか、年間を通じて宗教行事等で演奏を行っています。また、学外においては、地域からの要請に応じて、年間に十数回の演奏活動を行っています。

卒業生によって組織される OG 会は、日常的な練習の補助や、演奏会等のサポートを行うほか、定期演奏会での賛助出演も行っています。